

ふみ みやこ
「文の京」ハートフルプラン
文京区地域福祉保健計画

— 子育て支援計画 —

概要版

若者計画

令和8年度～
令和11年度



1 | 計画の概要

計画の目的

若者が抱える多様な課題や本区特有の傾向を踏まえ、「若者計画」を策定します。本計画により、多角的に若者支援を推進し、おおむね19～39歳の全ての若者が充実した生活を送ることができる社会を目指します。

計画の性格・構成・期間

本計画は、子ども・若者育成支援推進法に基づき策定するもので、「文京区地域福祉保健計画」の分野別計画である「子育て支援計画」に内包されます。

計画期間は、令和8年度～11年度とします。なお、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。



計画の基本理念・基本目標

本計画では、文京区地域福祉保健計画の総論で掲げた以下の基本理念及び基本目標に基づき、若者支援施策を推進していきます。

基本理念

- 人間性の尊重
- 自立の支援
- 支え合い認め合う地域社会の実現
- 健康の保持・増進
- 協働による地域共生社会の実現
- 男女平等参画の推進

基本目標

- だれもが、いきいきと自分らしく、健康で自立した生活を営める地域社会を目指します。
- だれもが、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、必要な福祉保健サービスを自らの選択により利用でき、互いに支え合う地域社会を目指します。
- だれもが、地域、暮らし、生きがいをともに創り、互いに高め合い、役割を持つことができる地域社会を目指します。

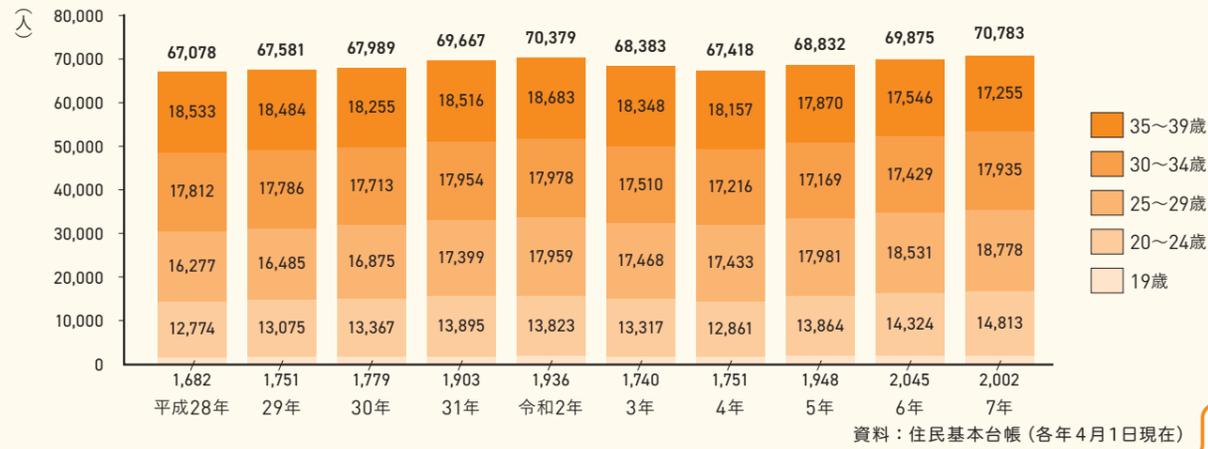
2 | 若者の現状



● 統計データ (文京区)

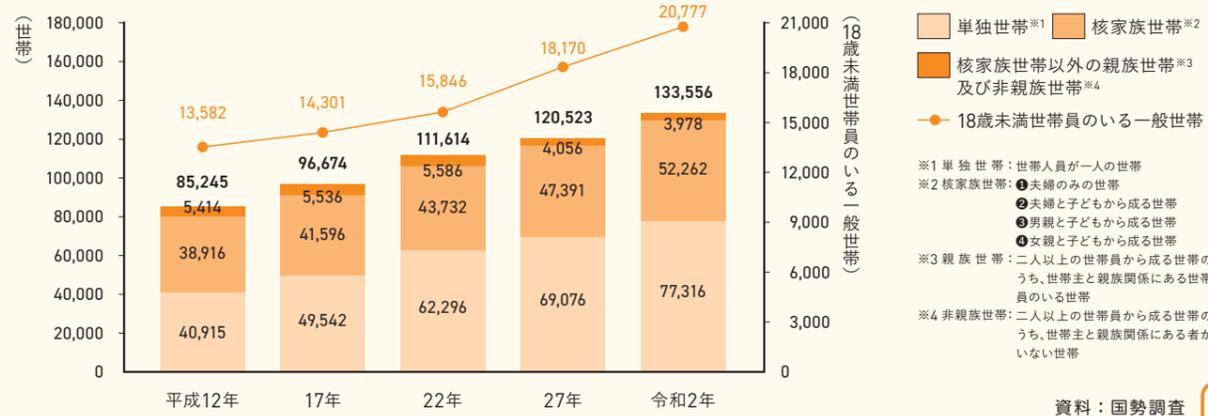
若者世代の人口の推移

令和7年の若者世代の人口は70,783人と過去10年間で最多となっており、20～34歳は増加傾向にある一方、35～39歳は減少しています。



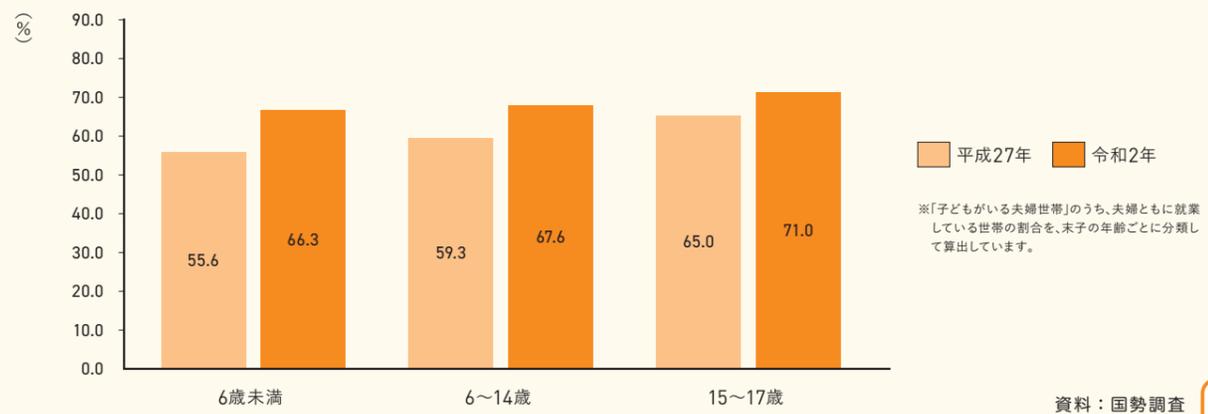
世帯類型の推移

単独世帯は過去20年で大幅に増え、全体の半数以上を占めています。



共働き世帯の割合 (末子年齢別)

子どもがいる夫婦の共働き率は上昇しており、特に6歳未満の子どもがいる家庭で大きく増加しています。

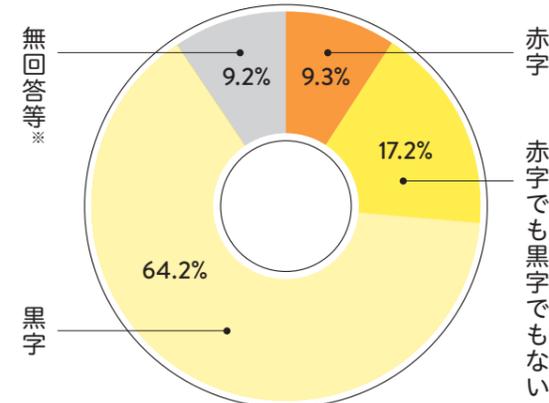


● 若者の生活と意識に関する調査結果

若者の生活や意識に係る現状を把握し、本計画の基礎資料を得ることを目的として、令和7年1月にWEBアンケートによる調査を実施しました。

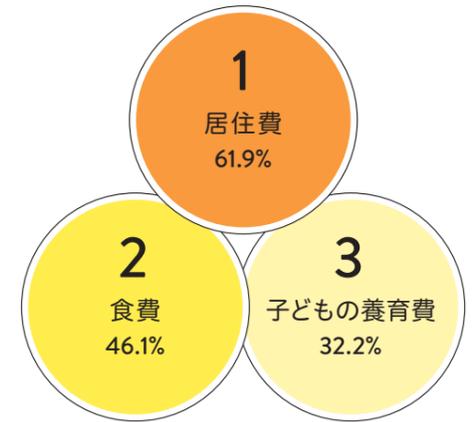
回答数 (n) = 14,064

家計の状態

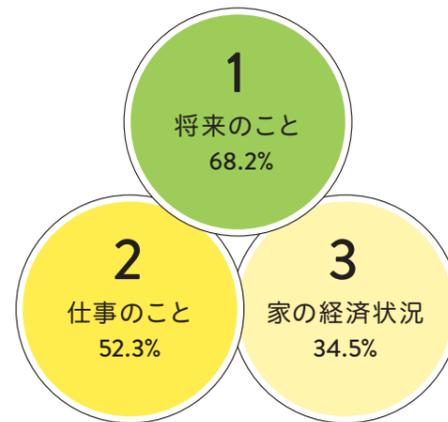


※無回答等は、「その他」「わからない」「無回答」の合計です。
※小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%未満になっています。

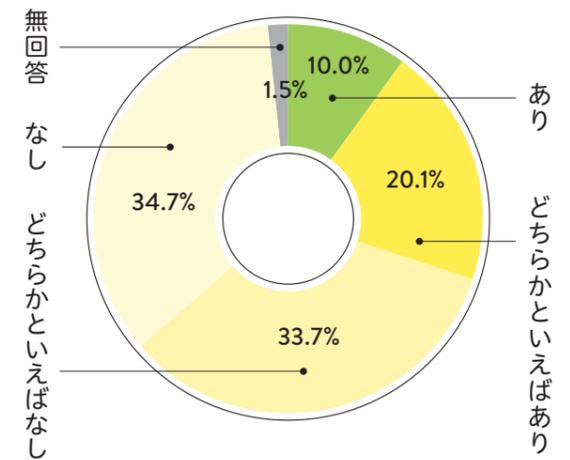
お金の不安や悩みのある費用 (上位3項目)



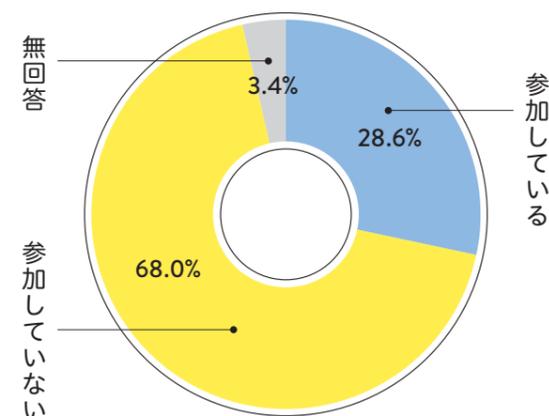
現在の不安や悩みごと (上位3項目)



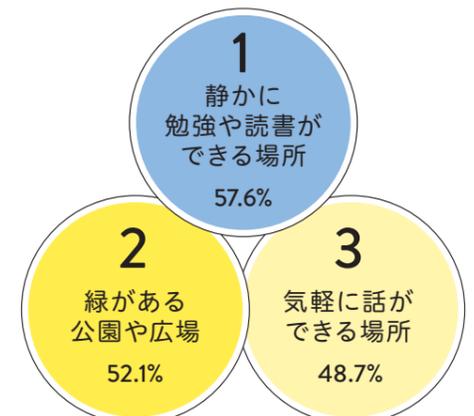
孤独感の有無



社会参加活動への参加状況



安心できる居場所に必要なこと (上位3項目)



3 | 計画の主要項目及びその方向性

おおむね19～39歳の
皆さんが充実した生活を送れる社会を目指します

文京区地域福祉保健計画の基本理念・基本目標(表紙下段に掲載)に基づき、若者支援施策を推進するため、全体に関わる4つの「基本的な視点」と、本計画期間(令和8年度～11年度)における3つの「主要項目」と「その方向性」を次のとおり掲げ、取組を進めていきます。



主要項目 1
充実した
ライフデザインの
支援



方向性
1 理想のライフプランと
ワーク・ライフ・バランスの実現

ライフステージの変化により生じる仕事と生活の両立の難しさに対応するため、就業世帯の支援や保育ニーズへの対応、事業主への啓発を進めるとともに、安心して相談できる体制を整え、若者の自分らしいライフプランの実現を後押しします。

方向性
2 健康とスポーツによる
生活の質の向上

若者が心身ともに健やかに暮らせるよう、健康的な生活習慣の定着やスポーツの習慣化を支援するほか、検診の受診促進や感染症対策に関する啓発等に取り組みます。

主要項目 2
社会的自立への
援助



方向性
1 社会的孤立の
予防と心理的支援

若者が孤立せず自分らしく安心して生活できるよう、ひきこもり等の多様な背景を持つ若者へのきめ細かな相談支援や居場所づくりを進め、心の健康を守るために関係機関と連携した切れ目のない支援体制を構築します。

方向性
2 経済的自立の
支援

若者が将来に希望を抱き、自立して生活できるよう、貧困や無業状態といった課題に対応し、経済的支援や就労支援等を行います。

主要項目 3
自己実現の
機会づくり



方向性
1 学び直しとキャリア設計

若者が学びや趣味を通じて人生を豊かにできるよう、生涯学習等の機会提供や勉強・読書に集中できる環境整備を進めるほか、学び直し(リカレント教育)や資格取得、起業支援等を通じて、多様なキャリアの選択肢を広げます。

方向性
2 社会参画と居場所づくり

若者が地域社会へ主体的に関わり、声を上げることができるよう、社会参画の機会を提供するとともに、多世代交流の促進や居場所づくりを通じて持続可能な地域社会を構築します。

基本的な視点

- 若者の意見表明機会の確保
- 包括的な支援体制の強化(重層的支援体制整備の推進)
- 持続可能で豊かな地域社会の構築
- 行政手続のデジタル化とDXの推進

主要項目 **1 充実したライフデザインの支援**

方向性

1 理想のライフプランとワーク・ライフ・バランスの実現



主な取組

- 文の京若年者向け就職面接会
- ダイバーシティ推進事業
- 乳児等通園支援事業 (こども誰でも通園制度)
- 病児・病後児保育
- ファミリー・サポート・センター事業
- 若者の居場所事業 「Bunkyo Night Youth Lounge」

方向性

2 健康とスポーツによる生活の質の向上



主な取組

- 健康づくり事業
- エイズ・性感染症対策の推進
- 地域のスポーツ団体等との連携による事業展開

主要項目 **2 社会的自立への援助**

方向性

1 社会的孤立の予防と心理的支援

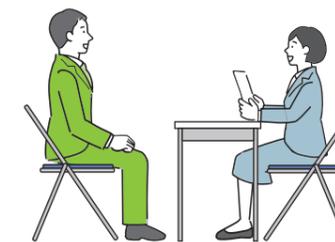


主な取組

- 重層的支援体制整備事業 (ぶんきょうチームでまるごと支援)
- 女性のほほえみ支援ネットワーク事業
- ゲートキーパー養成講座
- 若者の居場所事業「Bunkyo Night Youth Lounge」【再掲】
- ひきこもりの総合的な支援の推進
- ヤングケアラー支援推進事業
- 障害者基幹相談支援センターの運営
- 地域生活支援拠点の運営
- ダイバーシティ推進事業【再掲】

方向性

2 経済的自立の支援



主な取組

- 生活困窮者への自立支援の推進
- 母子家庭及び父子家庭自立支援給付金事業
- 文の京若年者向け就職面接会【再掲】
- 障害者就労支援の充実

若者計画検討のあゆみ

○ 令和7年1月16日～2月19日
若者の生活と意識に関する調査
(以下「若者調査」という。)

- 調査対象者……区内在住の19～39歳(全員)
- 有効配布数……70,038人
- 有効回収数……14,064人
- 有効回収率……20.1%

※調査結果の一部はp.3に掲載



アンケート調査の発送用封筒は手に取りやすいデザインで作成しました

○ 令和7年5月8日・7月9日・8月7日・10月17日
 令和8年1月22日
文京区子ども・子育て会議及び文京区地域福祉推進協議会 子ども・若者部会

公募区民や学識経験者等の委員が参加する会議において、本計画の掲載内容を審議しました。



○ 令和7年6月10日[1回目]・14日[2回目]
文京若者meeting!

若者の「望むまちの姿」を把握し、本計画の主要項目及びその方向性を定めるため、区内在住の19～39歳を対象としたオンライン意見交換会を2回開催し、1回目5人、2回目7人に参加いただきました。

若者調査結果の感想の共有や参加者が選んだ2つのトークテーマについての議論、区の理想の未来についての発表等を行いました。



Instagram 広告



YouTube 広告

若者に親しみやすい広報媒体を活用しました

【1回目】

トークテーマ 「永住」「社会参加活動」

参加者が考える文京区の理想の未来

- 住民同士が交流しやすく、挨拶や会話が自然に交わされる
- 全ての世代が住みやすく、開かれた雰囲気がある
- 子どもたちが明るい未来を歩める
- 文化資本を大切にできる

【2回目】

トークテーマ 「経済的格差」「コミュニティ」

参加者が考える文京区の理想の未来

- 経済的・家庭的な負担が過度にならない
- 働きながら自己実現できる
- 子育てがまちづくりの軸となり、子どもが長く過ごせる
- 自由な雰囲気や安心感があり、若者にとって魅力的である
- 幅広い支援があり、区民全員が幸せと感じられる

○ 令和7年6月11日・12日
学識経験者等との意見交換

若者支援や就労支援、居場所づくりを専門に活動を行う学識経験者等との意見交換を行いました。

若者調査結果に関する意見のほか、研究室での取組や町内会での活動、自身の経験、困っている方への行政の支援のあり方等をお話いただきました。

○ 令和7年7月25日
若者当事者との意見交換

区内の居場所施設を訪問し、20～30代の利用者5人に参加いただき、若者調査結果や本計画の主要項目及びその方向性について意見交換を行いました。

○ 令和7年12月5日～令和8年1月5日/令和7年12月10日・13日
パブリックコメント及び区民説明会

若者計画「中間のまとめ」について、パブリックコメントでは15人から34件、区民説明会では2人から4件の意見をいただきました。

方向性

1 学び直しとキャリア設計

主な取組

- 生涯学習推進事業
- リカレント教育課程等受講料助成金
- 創業支援セミナー



方向性

2 社会参画と居場所づくり

主な取組

- 文京 Vote Supporters
- 町会・自治会加入促進・担い手確保支援事業
- 重層的支援体制整備事業
(ぶんきょうチームでまると支援)【再掲】
- 小地域福祉活動の推進
- 地域の支え合い体制づくり推進事業
- ボランティア活動への支援
- NPO活動・地域活動の支援
- 若者の居場所事業
「Bunkyo Night Youth Lounge」【再掲】



「文の京」ハートフルプラン

文京区地域福祉保健計画

— 子育て支援計画 —

若者計画【概要版】

令和8年度～令和11年度

令和8年(2026年)3月発行

発行 | 文京区

編集 | 子ども家庭部子育て支援課

〒112-8555 文京区春日一丁目16番21号

03-5803-1901(直通)

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/>

印刷物番号 F0125015

詳しい内容は、「若者計画」の本文をご覧ください。本文は、シビックセンター2階の行政情報センター、区立図書館、区ホームページ等でご覧いただけます。